

平成 21 年 9 月 1 日

各 位

東京都千代田区内神田 2-7-10 松楠ビル 4F
(社)建設コンサルタンツ協会関東支部
環境専門委員会 委員長 酒川 和男
都市計画専門委員会 委員長 民岡 順朗

平成 21 年度 環境講習会開催のご案内

拝啓 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より協会活動に一方ならぬご協力を頂き、厚くご礼申し上げます。

さて、当環境専門委員会では、当協会に所属する技術者を対象としまして、毎年その時々話題をテーマとしての「環境講習会」を開催しています。昨今は会員だけでなく、行政関係者や研究者、学生など広く一般に公開し、情報発信に努めているところです。

本年度は、社会的に関心の高まっている地球温暖化問題に着目し「低炭素社会の構築に向けたまちづくりのあり方」をテーマとして第 10 回環境講習会を企画いたしました。

環境問題に興味をもたれている方には、若手社員や専門外の方にも理解しやすく、役に立つ内容となっておりますので、どうぞお気軽にご参加下さい。

何かとご多用の折とは存じますが、多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

敬具

第 10 回環境講習会

『低炭素社会の構築に向けたまちづくりのあり方』

地球の温度をプラス 2 度程度で安定化させるためには、2050 年時点で地球の二酸化炭素排出量を現在の半分程度に、先進国においては 60～80%削減することが必要といわれています。

我が国は環境先進国として、京都議定書目標達成はもとより、その先を見越した「低炭素社会」構築を国の方針として掲げました。そのためには、従来の工場や建物における単体対策のみならず、コンパクトなまちづくりやエコモビリティなどまちづくり全体での取組が欠かせません。

しかし、自治体も企業も、また都市基盤整備に関わる我々建設コンサルも、「低炭素社会」とはどのような社会なのか、その実現に向けて何をどのように変えていけばよいのかなど、未だよくわからないというのが実状ではないでしょうか。

そこで本年度の環境講習会は、「低炭素社会」の理念的な部分からまちづくりの総論、さらに事例に至るまでの 3 つの講演を設定し、会員企業はもとより、自治体担当者やまちづくりに関わる研究者・各種機関など幅広い主体を対象に、講師と参加者の質疑応答・意見交換を通じて、参加者が「低炭素社会」構築に向けて自ら何ができるかを考えていく場を提供することを目的に、下記の要領で開催致します。多くの皆様のご参加を心よりお願い申し上げます。

記

- 開催日時：平成 21 年 10 月 7 日（水） 13：00～16：30
- 開催場所：北区滝野川会館 大ホール
最寄駅：京浜東北線 上中里駅 徒歩 7 分、山手線 駒込駅 徒歩 10 分
- 主催：（社）建設コンサルタンツ協会関東支部 環境専門委員会、都市計画専門委員会
- 定員：250 名
- プログラム：（継続教育プログラム（CPD）：建設コンサルタンツ協会認定（予定））

13:00	開会
13:10～	講演 「温暖化対策から低炭素社会形成へ」
15:50	（独）国立環境研究所 地球環境研究センター 主任研究員 藤野純一氏
	講演 「低炭素都市づくりについて」
	国土交通省都市・地域整備局都市計画課 企画専門官 鎌田秀一氏
	講演 「低炭素社会の実現に向けた『環境モデル都市・京都』の取組」
	～ DO YOU KYOTO? ～
	京都市環境政策局地球温暖化対策室低炭素型まちづくり担当課長 中山雅永氏
15:50～	質疑応答、会場との意見交換
16:30	閉会

- 参加費： 会員 ¥2,000、非会員 ¥3,000、 ただし、学生・自治体関係者は無料
- 申込方法：添付の申込書にご記入の上、FAX で下記へお申込み下さい。
[申込・問合先]（社）建設コンサルタンツ協会関東支部事務局
東京都千代田区内神田 2-7-10 松楠ビル 4F
TEL：03-5297-5951 FAX：03-5297-5952
- 締切：平成 21 年 9 月 18 日（金）
ただし、締切日前でも定員に達し次第、締切らせて頂きます。なお、お申し込みをお受けした場合は、特にご連絡はいたしませんので、ご了承下さい。

講演概要

第 10 回環境講習会「低炭素社会の構築に向けたまちづくりのあり方」

講演 : 「温暖化対策から低炭素社会形成へ」

講師 : 藤野純一氏 (独法) 国立環境研究所地球環境研究センター 主任研究員

講演概要 :

昨今、低炭素社会という言葉がよく聞かれるようになった。低炭素社会という言葉はいつ、誰が使いはじめたのか。低炭素社会構築と今までの温暖化対策とはどこが違うのか。低炭素社会とはどのような社会で、低炭素社会になれば私たちの生活はどうかかわるのか。そんな低炭素社会に関する基本的な事項を「脱温暖化 2050 年プロジェクト」のメンバーの藤野氏が明らかにしてくれる。そして、どこにどのような対策を講じれば、我が国の二酸化炭素排出量を 70% 削減することができるのか、そのシナリオの中で、求められる技術は、効果的な対策とは……。建設コンサルタンツは、自治体は何をなすべきか、どういう技術が求められるか、何がビジネスチャンスに成り得るか……。参加者の皆さんと考えていきたい。

講演 : 「低炭素都市づくりについて」

講師 : 鎌田秀一氏 国土交通省国土交通省都市・地域整備局都市計画課 企画専門官

講演概要 :

温暖化対策といえば、いままでは、各部門においてそれぞれに二酸化炭素削減にむけた取組がなされてきた。しかし、京都議定書の目標達成計画の全部改訂や、2050 年までに世界全体の温室効果ガス排出を半減するという長期的な目標に向けて、削減の効果を一層高めるためには、都市構造全体を見据えた総合的な取組が必要となってきた。国内の排出削減シナリオにおいても、全体の 2 ~ 3 割が都市に関連する内容となっており、土地利用・交通、エネルギー、緑といった分野について、低炭素都市づくりへの対応が求められている。低炭素都市づくりに向けた都市計画分野の対応の考え方などを紹介する。

講演 : 「低炭素社会の実現に向けた『環境モデル都市・京都』の取組」

~ DO YOU KYOTO? ~

講師 : 中山雅永氏 京都市環境政策局地球温暖化対策室 低炭素型まちづくり担当課長

講演概要 :

今後、我が国が目指すべき「低炭素社会」の姿を具体的にわかりやすく示すため、温室効果ガスの大幅な削減など、高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市を、「環境モデル都市」として国が選定し、関係省庁が連携してその実現を支援している。京都市は、平成 21 年 1 月、この「環境モデル都市」に選定された。

京都市は、京都議定書が誕生した COP 3 の開催都市。これを契機に、バイオディーゼル燃料化事業、「京のアジェンダ 21 フォーラム」設立、「K E S」の開始、「京のエコロジーセンター」の開所など、地球温暖化防止に向けた様々な取組を実施してきた。そして、環境モデル都市京都では、温室効果ガスに対 1990 年比で 2030 年までに 40%、2050 年までに 60% 削減という目標を掲げ、さらに長期的には「カーボン・ゼロ都市に挑む」ことを基本姿勢に、「歩くまち・京都」、「木の文化を大切にすまち・京都」などのシンボルプロジェクトを進めようとしている。環境モデル都市京都の、今まで、そしてこれからの取組を紹介する。

北区滝野川会館 周辺案内図



郵便番号 114-0024

所在地 東京都北区西ヶ原 1-23-3

電話番号 03-3910-1651

FAX 番号 03-3910-1698

駅からのアクセス方法

- ・JR 上中里駅東口(京浜東北線)徒歩 7 分
- ・JR 駒込駅北口(山手線)徒歩 10 分
- ・地下鉄南北線西ヶ原駅徒歩 7 分

申込用紙

環境講習会「低炭素社会の構築に向けたまちづくりのあり方」

講習会日時：平成21年10月7日（水）13：00～16：30
北区滝野川会館 大ホール

会社名： _____

所在地： _____

(ふりがな) 参加者氏名	部 署	役 職
()		
()		
()		
()		
()		

< 連絡責任者 >

氏 名： _____ 部 署： _____

T E L : _____ F A X : _____

(社) 建設コンサルタンツ協会関東支部 事務局： **FAX : 03-5297-5952**